

土幌町立土幌小学校 学校便り

# しほろ

第4号 令和2年7月17日



(文責) 土幌町立土幌小学校長 佐藤 育子

## 晴天の下、笑顔がいっぱいの遠足



7月3日(金)、晴天に恵まれ、子どもたちが楽しみにしていた遠足を実施することができました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の影響により、学校行事を自粛してきたため、学校再開後、初めての全校行事となりました。

1年生は、交通公園と中央公園で遊んだ後に、遊水公園で昼食という公園ツアー。2年生は、中央公園内でのオリエンテーリングとレクリエーション、昼食という中央公園満喫ツアー。3年生は、音更町十勝エコロジーパークへのバスツアー。4年生は本別公園へのバスツアー。5・6年生は上土幌町航空公園へのサイクリング。心配していた天気も絶好の遠足日和となり、楽しい時間を過ごすことができました。

まだまだ新型コロナウイルスへの警戒を怠ってはいけない時期ではありますが、子どもたちの笑顔を見ると、思い切って実施してよかったと思ったところです。感染防止のための配慮をしながらも、可能な限り日常の学校生活を取り戻すことが、子どもの心の安心につながっていくものと考えています。

また、お弁当の日の取組にご協力いただき、ありがとうございました。うれしそうにお弁当を食べている子どもの笑顔はとても素敵でした。



【1年：みんなで輪になってお弁当】



【2年：中央公園満喫中】



【5・6年：元気にサイクリング】

## 新しい先生の紹介

く どう りゅうへい

工藤 竜平 先生

NO IMAGE

6月1日から5年生の教室で、子ども達の学習を支援してくれています。  
どうぞよろしくお願いいたします。

# イベント委員会主催 放送ミッション

7月13日（月）の中休みに、イベント委員会が主催する放送ミッションが行われました。

縦割り班（1年生から6年生までの異学年のグループ）ごとに、イベント委員会の放送や各班のリーダーの指示で、クイズ（暗号）を解くというイベントです。新型コロナの対応で、体育館に一堂に集まることができない中ですが、できる方法を工夫して実施してくれました。

ミッションは、次の暗号を解け！というものです。

① か4さ2が5ま3      ② は1ーた5

解けましたか？ 答えはお子さんに聞いてみてください。  
このイベントを企画してくれたイベント委員会のメンバーです。

委員長	小椋 蒼空（6年）	
副委員長	上野 結菜（6年）	中村 柊月（6年）
書記	羽根田 恵（6年）	
委員	長谷川あまの（6年）	嘉藤 皇司（6年）
	沖舘 玲央（5年）	國井 麻央（5年）
	土橋 深優（5年）	富松 壮志（5年）
	二川 心那（5年）	若村颯一郎（5年）
	鈴木 智也（4年）	嘉藤 みれい（4年）
	野口 優乃（4年）	仁和 奏音（4年）
	松嶋 琴葉（4年）	高橋 伶菜（4年）
	山田 煌翔（4年）	



## 本日7月17日は「北海道みんなの日」です!

7月9日（木）の全校朝会（放送）で、「北海道みんなの日」についてお話をしました。

北海道は昔、「蝦夷地」と呼ばれていましたが、今から約150年前の7月17日に、松浦武四郎（まつうら たけしろう）という人によって、「ほっかいどう」と名付けられたことから、7月17日が「北海道みんなの日」になったというお話でした。

また、「ほっかいどう」は、「北海道」と書くことから、「北にある海に囲まれたところ」という意味だと思っていたら、「ほっかいどう」の「かい」は「海」ではなく、「加伊」。アイヌの人の言葉で「この土地に生まれた人」という意味で、「北加伊道」は、「北の土地に生まれた人」という意味だった！ということもお話しました。

この機会に北海道や十勝、士幌町の歴史や文化について調べてみては、どうでしょうか。



↑【松浦 武四郎】